

一般社団法人御坊青年会議所
理事長所信

第53代理事長 中村 英貴

スローガン「つながり」～広げよう、新たなる和～

はじめに

昨年、天皇陛下の退位によって元号が変わり、昭和の戦後に端を発する青年会議所運動は昭和から平成を経て、新時代「令和」につながって参りました。それも偏に「明るい豊かな社会」の実現という不変の目標があり、その実現に向けメンバー全員が活動を続けて来たからではないでしょうか。

我々御坊青年会議所も一昨年創立50周年という大きな節目を迎え、その場に立ち会えた事で諸先輩方が積み重ねてこられた歴史の重みを実感し、それを次世代へ伝えていく事が我々現役メンバーの使命であると改めて認識しました。しかし私たちを取り巻く環境は日々変化しており、先輩諸兄姉の志を引き継ぎながらも時代に即した形に進化していかなければなりません。よく耳にする言葉で「JCしかない時代」から「JCもある時代」と言われる事があります。私自身はその通りだと思っており「JCにしか出来ない事」もあれば、視野を広げ地域の皆様を始め、他団体の方や、県内各青年会議所メンバー、果ては日本各地のメンバーとつながりを築いて行く事で出来る事もあって良いと考えます。

その結果として、メンバー自身も新たな気付きや成長につながり、重なりあう事で新たな和が広がり、御坊・日高地域の「明るい豊かな社会」づくりの一助になると考えます。

会員拡大

人間の行動心理として、楽しいところや自分の為になるところに人は魅力を感じ集まり、逆に楽しくない、為にならないと判断したところには興味を抱きません。義務感で続けているだけでは長期的な力にはなりません。自分たちの住んでいる地域が「明るい豊かな社会」になる事に反対される人はいないはずですが、我々の活動が楽しく、為になると判断されれば共感してくれる人は自ずと増えていき、在籍メンバーが楽しい、為になると思える団体であるならばその思いは共感され共存され共有されていき、様々な人に我々の活動の魅力が伝わって行くと考えます。言うは易しで簡単な事ではないと思いますが、その思いで会員拡大に取り組んで参ります。

青少年育成と地域づくり

近年、地方では急激な人口減少が課題とされております。我々御坊青年会議所の所在する御坊・日高地域もその例外ではなく、若者の都会への流出が止まらずに人口が減少しています。それがなぜ起こるのか。当然都会での利便性を求め離れていく若者も多いと思いますが、地域の魅力が十分に伝わらず、若者に認知されていないことも理由の一つではないでしょ

うか。御坊・日高地域を含む和歌山県内でも様々な魅力や誇れる仕事はたくさんあり、それらのマッチングを我々が率先して行う事で、子供たちは地域に夢を持ち、地域の活性につなげていきたいと考えます。

ブロック事業等への積極的な参加

冒頭でも述べたように、今年度は視野を広げ、新たなつながりや新たな気付きを得てもらう事でメンバー個人個人の成長につなげていきたいと考えています。幸いにも本年は御坊青年会議所より10年ぶりに和歌山ブロック協議会会長を輩出し、近畿地区大会も和歌山県で行われます。各青年会議所単体では体験出来ない貴重な気付き、成長の場につながると考えますので、御坊青年会議所全体で積極的に参加していくように取り組んで参ります。

的を絞った効率的で質の高い活動

青年会議所の活動で感じる事として活動日数が多く拘束時間が長いという点があると思います。それ故に幅のある事業や質の良い事業が出来、友情も深まるのも事実ではあると思いますが、メンバー自身にも過度な負担がかかり、仕事や家庭にまで支障が出るケースもあります。それでは本末転倒になってしまいますので、本年はメンバー・地域にとっての必要性や意義を分析した上でやることを絞り、そこに対して効率的にパワーを注ぎ、共に学び成長し、より深いつながりを得ていきたいと考えます。

結びに

2020年度のスローガンとして「つながり」～広げよう、新たな和～を掲げます。和という言葉には様々な意味がありますが、私が好きな言葉に「和を以て貴しと為す」という言葉があり、意味は他人との調和が大事ではあるが、体裁を取り繕うのではなく、互いに意見を言い合い理解しあう事とあります。再三楽しくと申し上げておりますが本当の意味での楽しさは相互理解というつながりの上に生まれてくるものだと考えております。40歳までの貴重な一年間和を以てつながりを広げていきましょう。

基本方針

1. 会員拡大と全メンバーへの意識の徹底
2. 青少年育成事業の実施と地域づくりのマッチング
3. ブロック事業等への積極的な参加
4. 例会、事業への積極的な参加と協力
5. バランスと節度を持った有効で効率的なJC活動の確立

◎総務室

I 室長 和田 俊哉

II 基本方針

近年、御坊青年会議所は諸先輩方やメンバーの協力のおかげで会員増加につながっております。より多くのメンバーが集まれば、少数ではできない活動も可能となり、メンバー間やメンバーを通じた新たな和が生まれ、魅力のある青年会議所として、活動を行っております。しかし、会員増加に伴い活動の幅がひろがることによるメンバーの負担や活動過多による財源の減少が懸念されます。我々総務室の立場から、明るい豊かな社会の実現に向けて、メンバーや地域にとって本当に必要なものは何か、意義がある事なのかを分析した上で運営していき、限りある財源をこの先 60 周年、100 周年へつなげていく必要があると考えます。

本年度、総務室では、的を絞った効率的で質の高い活動を行うための組織強化や円滑な組織運営を図り、定款諸規定の研究と見直し、財政の適正な運営と管理、御坊青年会議所の魅力や活動をホームページや Facebook 等を利用して対外に発信し拡げていき、今後さらなる「つながり」をつくる為の一助になる活動を行っていきたいと考えています。

III 事業計画

総務・広報委員会

- ・総会の担当
- ・定款・諸規定の研究と見直し
- ・財政の運営と管理
- ・褒賞申請に関する事項
- ・会員消息に関する事項
- ・JC ニュースの発行
- ・ホームページや Facebook 等を活用した運営管理と対外広報活動の実施
- ・新入会員発掘への積極的な協力及びフォローアップ
- ・各種青年会議所運動への積極的な参加
- ・その他基本方針より派生する諸問題の調査研究と実施

◎会員開発室

I 室長 古久保 佳州

II 基本方針

新時代『令和』に入り、御坊青年会議所も新たな一步を踏み出します。近年、会員増強に成功し、新入会員が増えている中、昨年度一つの時代を築いて来られた先輩8名が卒業されました。御坊青年会議所が抱える懸念事項として会員の減少や経験豊富な会員の卒業が挙げられます。先輩方がつないで来られた意志を次世代につないでいくためにも、会員拡大と会員の資質向上は必要不可欠であり、メンバーが一丸となって取り組むべき課題であります。

魅力ある組織には自然と魅力的な人が集まります。まずは御坊青年会議所の魅力をメンバーが再認識し、その魅力を外部に発信する必要があると考えます。

御坊青年会議所の魅力の一つとして、メンバー間の強い絆が挙げられます。本年、会員開発室ではメンバー間のつながりを更に強固なものにする事業を実施し、また新たなつながりを求めて対外事業への積極的な参加を促し、御坊青年会議所の魅力を外部に発信し、会員拡大へとつなげてまいります。

III 事業計画

会員交流委員会

- ・新春初詣の実施
- ・例会での三分間スピーチの担当
- ・会員相互の交流を図る事業の実施
- ・各種大会、事業への参加呼びかけ及びとりまとめ
- ・新入会員発掘への積極的な協力及びフォローアップ
- ・その他基本方針より派生する諸問題の調査研究と実施

拡大・研修委員会

- ・会員の拡大
- ・研修事業の実施
- ・新入会員オリエンテーションの実施
- ・各種青年会議所運動への積極的な参加協力
- ・会員個々の資質向上を図る事業の実施
- ・その他基本方針より派生する諸問題の調査研究と実施

◎社会開発室

I 室長 小林 久起

II 基本方針

平成から令和へと元号が変わり、新たな時代の幕開けを迎えた昨年。移り行く時代の中でも、御坊青年会議所は地域とのつながりを大切にし、「御坊・日高地域の発展」、「青少年の健全育成」、「明るい豊かな社会と未来の創造」を目指し長年に渡り事業活動を続けてまいりました。

我々社会開発室の大きな役割は、諸先輩方がつないでこられた様々な継続事業に全力で取り組み、それら事業を次の世代につないでいくことです。これらの役割を全うしていくためには、今に至るまで事業が続いてきたからというような、自主性・積極性に欠ける理由で取り組んでいくのではなく、諸先輩方がその事業に込められた想いや願い、そして重んじてこられた伝統をくみ取った上で、我々現役メンバーの想いを重ねることが、大切であると考えます。

メンバー同士のつながり、地域とのつながりをより深く構築していくことが事業成功に向けての推進力となり、共に創り上げた事業の成功が青少年の健全育成と、地域社会の明るい未来に大きく貢献できると、確信しています。

「地域の魅力を再発見し、子供たちが未来に希望を抱くことができるような事業の実現」

本年度、我々社会開発室はメンバー全員がその志をしっかりと胸に刻み、御坊青年会議所全体、そして地域を牽引しながら一つひとつの事業に全力で取り組んでまいります。

III 事業計画

青少年育成委員会

- ・第34回わんぱく相撲御坊場所開催並びに第3回わんぱく相撲和歌山県大会の開催
- ・第36回わんぱく相撲全国大会への参加
- ・青少年健全育成につながる事業の実施
- ・青少年に関する諸問題の調査研究と実施
- ・新入会員発掘への積極的な協力及びフォローアップ
- ・各種青年会議所運動への積極的な参加
- ・その他基本方針より派生する諸問題の調査研究と実施

地域共創委員会

- ・第44回七夕まつりの実施
- ・地域活性化運動の推進と実施
- ・地域発展に関する諸問題の調査研究と実施
- ・新入会員発掘への積極的な協力及びフォローアップ
- ・各種青年会議所運動への積極的な参加
- ・その他基本方針より派生する諸問題の調査研究と実施